

1 国語に関する調査

【特長】

- 資料に書かれている内容や目的を意識しながら読み、必要な情報を捉えたり、要約したりすることができた。
- 文や文章の中で、正しく漢字を使うことができた。また、文章の種類やその特徴について理解した。

【課題】

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめ文章に表すことに課題が見られた。
- インタビューの場面に関わる設問では、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることに課題が見られた。

2 算数に関する調査

【特長】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ったり、比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて考えたりすることができた。
- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることや、正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる問題は、よくできていた。

【課題】

- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いて計算したりするなど工夫して計算することに課題が見られた。
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを、例文を参考に記述することに課題が見られた。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- ・「先生が、授業やテストで間違えたところ等について、分かるまで教えてくれている」と回答した児童や、「総合的な学習の時間に自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表できた」と回答した児童が多く、授業に充実感や満足感を感じていることが伺える。
- ・「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」や「自分にはよいところがある」と回答した児童が多かった。児童が自己肯定感を感じたり、教師と児童の良好な関係が築かれたりしていることが伺える。

【課題】

- ・「算数の学習の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が低かった。また、復習をして、学習を次に生かそうとする姿勢や、学校の授業時間以外に学習する児童の割合も低かった。
- ・学校図書館や地域の図書館に本を借りに行く児童の割合が多かったものの、授業時間以外に読書する児童の割合は低かった。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・様々な教科の中で、自分の考えをまとめ、書く活動を積極的に行ったり、話し合い活動やインタビュー活動を行ったりして、話し手が伝えたいことや自分が伝えたいことを意識できるように取り組んでいく。
- ・算数では、当該学年の学習に限らず、既習の学習内容の意味や性質などを理解させ、他教科と関連付けて活用する機会を増やしていく。
- ・放課後も次の学習への大切な一歩の時間と捉え、自分のペースで学習する時間を持てるように、個に応じた学習の大切さを伝えていく。
- ・読書記録の表彰を今後も継続し、読書週間や学習と関連する本の紹介をするなど、読書の魅力を伝える機会を充実させ、授業時間以外にも読書が進んで行えるように取り組んでいく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・学校生活を生き生きと送れるように、毎日の寝る時間やインターネット使用の約束等を決め、お子さんが朝食をとって登校できるよう、規則正しい生活をこれからも心がけてください。
- ・将来の希望や夢を持ち、お子さんが明るい未来を想像できるように、ご家庭でお子さんと会話する時間を大切にしてください。
- ・放課後や休みの日など、学習の復習や読書を生活の中に積極的に取り入れ、お子さんの成長に応じた学習環境づくりをお願いいたします。